

道路

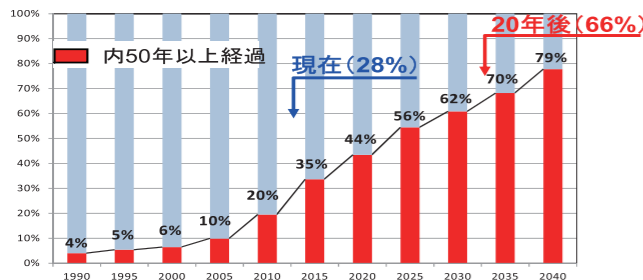
復興・防災対策

道路の老朽化対策

高度成長期以降に整備した道路の急速な老朽化に対応するため、各々の施設の特徴を踏まえた適切な点検による現状確認と、その結果に基づいた的確な修繕の実施が不可欠です。例えば、橋梁においては、建設後50年を超える橋梁数の全管理橋梁数に占める割合が、現在の28%から20年後には約66%まで急激に増加します。これら橋梁の長寿命化を図りライフサイクルコストを軽減するため、これまで「事後保全型」の維持管理から「予防保全型」の維持管理への転換を進めています。

また、市町村道路等を管理する地方自治体に対しても、研修や講習会及び市町村管理橋梁の点検・診断に係る様々な技術支援の取り組みを実施しています。

■ 架設から50年経過した橋梁割合の推移



■ 橋梁の損傷事例

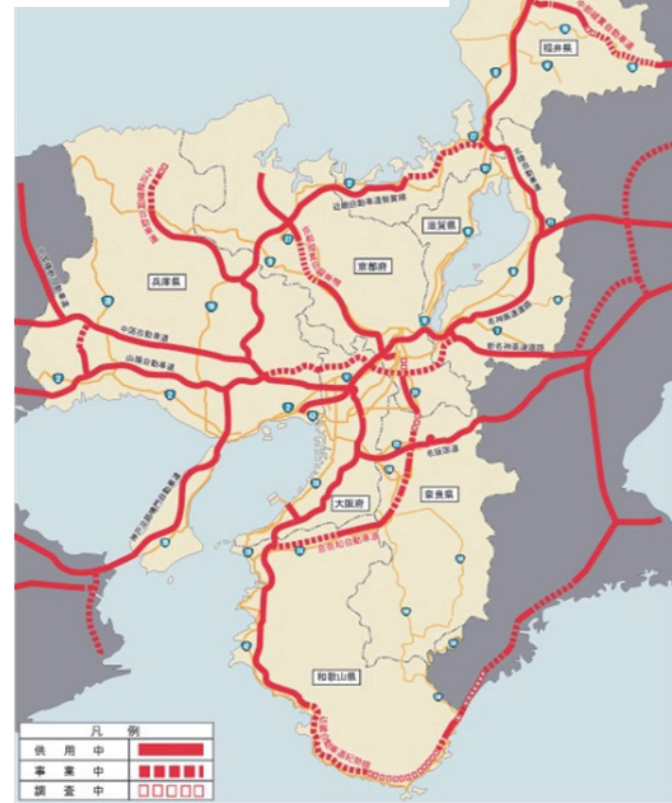


主桁のひび割れ（一般国道42号 古座大橋）

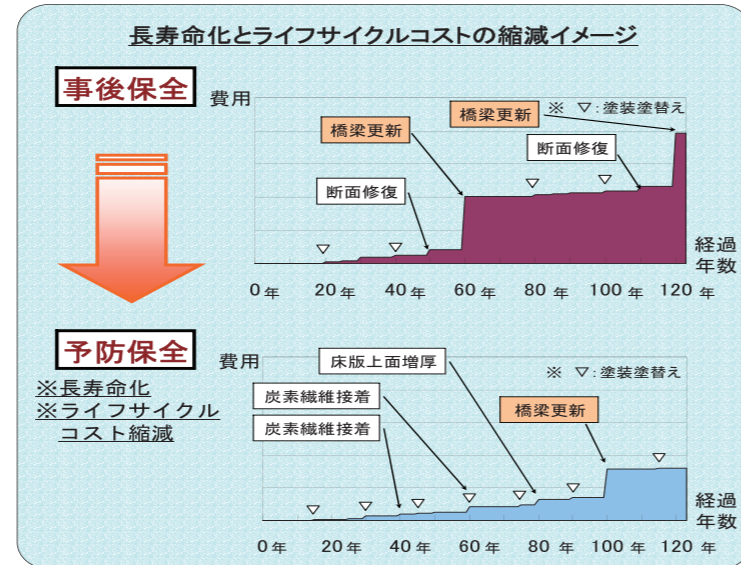
道路ネットワークの整備

災害に強い広域ネットワークを構築するため、今後想定される地震、津波発生時や豪雨災害によって、現道が寸断することにより広域交通に影響を及ぼすおそれがある区間について、代替性の確保のための主要都市間等を連絡する高規格幹線道路等の整備を推進します。

近畿圏の高規格幹線道路網



■ 長寿命化修繕計画の効果



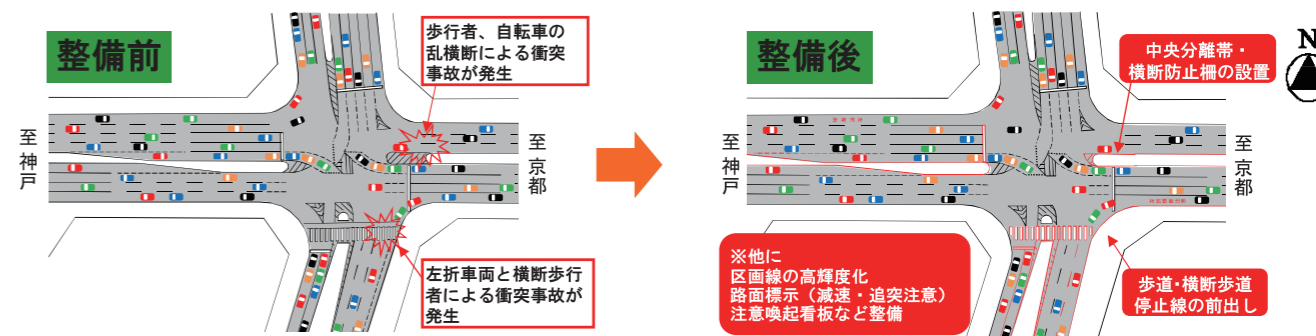
暮らしの安心・地域活性化

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の推進

より効率的・効果的な交通事故対策事業を推進するため、「事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」の取り組みを進めています。

「事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」は、事故が多発する幹線道路を対象に、過去の事故データや地域の声に基づいた事故の危険性の高い区間を選定し、警察等と連携した重点的な対策を推進します。

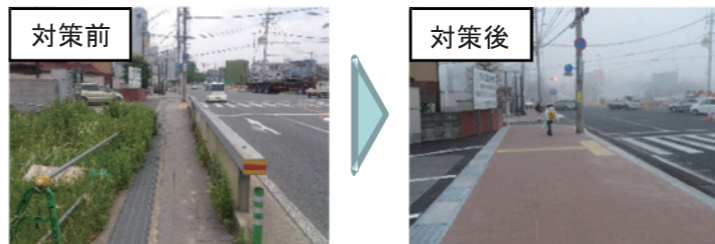
交差点の改良事例



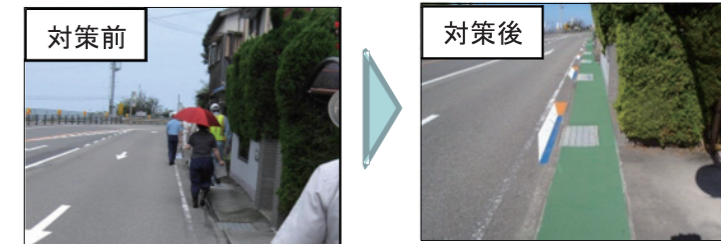
通学路等における安全で安心な歩行空間の創出

文部科学省及び警察庁と連携して実施した通学路における緊急合同点検の結果等を踏まえ、歩道整備や防護柵設置等の対策を行うことにより、安全で安心な歩行空間を確保する取組を推進します。

対策実施例(歩道の拡幅)



対策実施例(カラー舗装化、立体減速表示の設置)



成長による富の創出

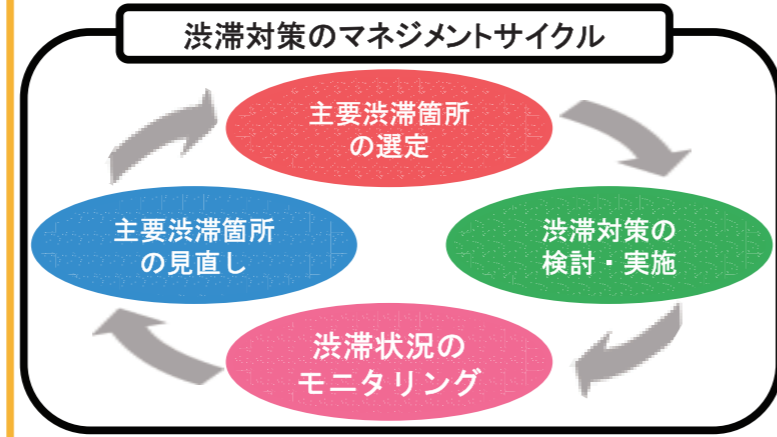
円滑な都市・地域活動のための渋滞対策

近畿地方整備局管内における道路の渋滞対策を効率的に進めていくため、各府県の「渋滞対策協議会」等(※1)において、最新のITS技術を活用した民間プローブデータ(※2)や民間事業者・地域の皆様の意見から、高速道路63箇所、一般道路1060箇所の「主要渋滞箇所」を選定しました。

※1 国、府県、政令市、警察、高速道路会社、関係民間団体等で構成
 ※2 カーナビゲーションシステムから得られる速度データ

渋滞対策推進マネジメント

渋滞協議会では選定された主要渋滞箇所を基に、渋滞の要因の分析、ソフト・ハードを含めた対策を検討・実施するとともに、渋滞状況を継続的にモニタリングし主要渋滞箇所を見直すなど、渋滞対策推進のマネジメントを実施します。



大都市圏環状道路の整備

直下型地震等における避難、救援、物資輸送ルートの確保や、迅速かつ円滑な物流の実現、国際競争力の強化、交通渋滞の緩和等を図るため、環状道路の整備を推進します。

近畿圏の環状道路ネットワーク



ITSスポットサービスの取り組み

全国の高速度路上に設置された「ITSスポット」と、自動車に搭載された「ITSスポット対応カーナビ」との高速大容量の通信により、リアルタイムで多彩な道路交通情報等を提供する新しいサービスです。

ダイナミックルートガイダンス

■ 広域な渋滞データを配信。カーナビが賢くルート選択

都市圏全体の区間ごとの所要時間データを受信

カーナビが賢く最適ルートを選択

道路ネットワーク全体の有効活用が可能に

安全運転支援

■ 危険な路上障害を、1km手前でドライバーに注意喚起!

